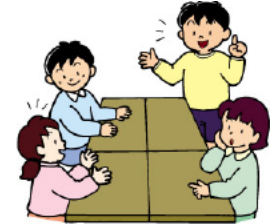


# 学力の向上

当初予算主要事業 教育委員会 2、3、4、5、9頁 【予算額 合計 1,416,957千円】  
高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2931)、教職員課(224-2958)、  
研修企画・支援課(226-3731)、社会教育・文化財保護課(224-3322)



学校・家庭・地域が一体となった「みえの学力向上県民運動」の取組をさらに推進し、「確かな学力」の定着・向上とともに、教職員の授業力の向上、地域に開かれた学校づくりの推進を図ります。

## 「確かな学力」の定着・向上

### (一部新)「確かな学力」を育む総合支援事業

【予算額 23,243千円】

- ▼全国学力・学習状況調査の活用促進や分析結果に基づく授業改善支援
- ▼実践推進校(100校)への学力向上アドバイザー(5名)の派遣
- ▼「科学の甲子園ジュニア(仮称)」三重県予選の実施

### (新)高校生学力定着支援事業

【予算額 3,381千円】

- ▼基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、モデル校として6高校を指定
- ▼当該校において生徒の基礎学力や学習状況を把握し、問題解決のための効果的な指導方法を研究

### 少人数教育推進事業

【予算額 1,319,497千円】

- ▼小学校1年生の30人学級(下限25人)の継続(定数25人)
- ▼小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消の継続(定数80人)
- ▼中学校1年生の35人学級(下限25人)の継続(定数55人、非常勤30人)  
※実情に応じて2・3年生への振替可
- ▼少人数授業などのための教員配置の継続(定数52人、非常勤235人)

### (新)学力向上のための読書活動推進事業

【予算額 20,000千円】

- ▼学校図書館を活用した授業の実施
- ▼外部委託による専門性の高い図書館司書有資格者の小中学校への派遣
- ▼ファミリー読書の周知・啓発

## 教職員の授業力の向上

### (新)フューチャー・カリキュラム実践研究事業

【予算額 4,408千円】

- ▼「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」の創造に向けた小中学校における授業改善モデルの作成と普及
- ▼《フューチャー・カリキュラム実践研究委員会及び小中学校の教科別のプロジェクトチーム(9チーム)を設置して検討》

### 教職員の授業力向上推進事業

【予算額 14,526千円】

- ▼経験年数や校種の異なる教職員の相互研さんによる授業実践研修の実施
- ▼授業研究を中心とした校内研修を企画・運営する「授業研究担当者」の育成
- ▼各学校で学校づくり、学級づくりを推進するミドルリーダーの養成

## 地域に開かれた学校づくり

### 地域による学力向上支援事業

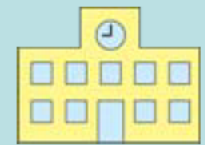
【予算額 13,915千円】

- ▼市町における、大学生、教員OBなど地域住民による子どもの学力向上の取組を支援(10市町での実施を予定)

### 地域と協働する学校運営支援事業

【予算額 11,690千円】

- ▼市町教育委員会と連携し、公立小中学校におけるコミュニティ・スクールなど「地域に開かれた学校づくり」の仕組みの導入を促進



## みえの学力向上県民運動の展開

### (一部新)みえの学力向上県民運動推進事業

【予算額 6,297千円】

- ▼ホームページ、リーフレット等による県民運動の発信
- ▼地域で開催される研修会等に推進会議委員を派遣
- ▼「まなびのコーディネーター」(56名)による地域の教育力を活用した「みえの学び場」づくりの推進



# 安心して学べる環境づくり

当初予算主要事業 教育委員会 6、7、8頁

【予算額 合計 333,951千円】

生徒指導課(224-2332)、人権教育課(224-2732)  
研修企画・支援課(226-3516)

いじめ等の問題行動の解決に向け、学校、家庭、地域、関係機関と連携した支援を行うとともに、相談できる体制を整備することにより、すべての子どもたちが、安心して学べる基盤づくりを進めます。

## 相談体制の充実・関係機関との連携

### ●スクールカウンセラーの配置の拡充

小学校 123校 → 255校 中学校 159校 → 163校  
高等学校 31校 → 36校

### ●スクールソーシャルワーカーの増員（4名⇒7名）

### ●いじめ巡回相談員の配置（15名）

#### スクールカウンセラー等活用事業

【予算額 160,087千円】

さまざまな生徒指導上の問題解決のための取組を進めるため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを小中学校及び高等学校へ配置・派遣

#### (新)スクールカウンセラー等緊急活用事業

【予算額 61,695千円】

いじめの早期発見・早期対応のための緊急対策として、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員し、各学校へ配置・派遣

#### (新)いじめ巡回相談員配置事業

【予算額 36,347千円】

いじめの問題への支援が必要でスクールカウンセラーの配置のない小学校へ派遣

#### 学びの環境づくり支援事業

【予算額 25,724千円】

中学校区を単位としてスクールカウンセラーを配置し、小中学校間のスムーズな連携を進め、教育相談体制を充実・活性化

【15中学校区(中学校15校、小学校45校)】

#### 学びを保障するネットワークづくり事業

【予算額 11,600千円】

- ・学校、保護者、地域住民等が一体となって取り組む「子ども支援ネットワーク」の中学校区単位での構築
- ・ネットワークの要となる教員の育成支援

【10中学校区】

教育相談、いじめ電話相談、体罰に関する電話相談の実施

## 子どもたちの「自立する力」「共に生きる力」の育成

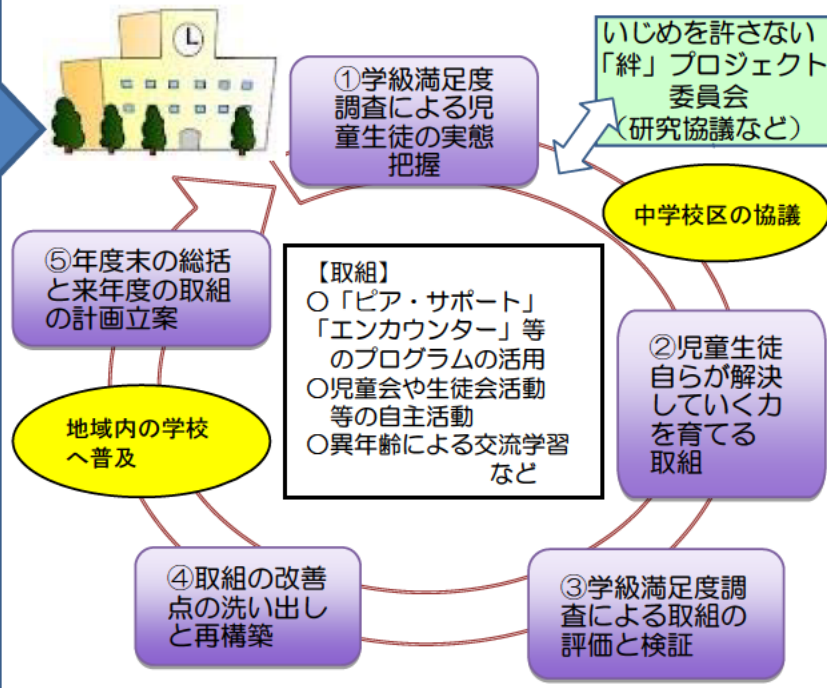
### (新)いじめを許さない「絆」プロジェクト事業

【予算額 38,498千円】

- 学級満足度調査を活用した学級・学校づくり・児童生徒自らが解決していく力を育てる取組
- いじめを許さない「絆」プロジェクト委員会での研究協議
- 生徒指導の核となる教員を対象とした養成講座

【学級満足度調査対象 約31,000人】

いじめの緊急調査等を踏まえ選定した29中学校区の小3～中3全児童生徒



# 特別支援教育の充実と障がい者雇用の推進

当初予算主要事業 教育委員会 10、11頁

特別支援教育課 (224-2961)

教職員課 (224-2953)

学校施設課 (224-2955)

【予算額 合計 674,161千円】

障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の充実、学習環境の整備を図るとともに、障がいの状況に応じて働くことができるよう、就労の支援や職場環境の整備を進めます。

## 《ニーズに応じた指導・支援の充実》

### (一部新)早期からの一貫した教育支援体制整備事業

【予算額 17,519千円】

#### ○パーソナルカルテを活用した就学相談・指導体制の構築

- ・パーソナルカルテ推進強化市町の指定
- ・障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加の実現に向けた指導・支援の充実

#### ○発達障がいのある児童生徒への適切な指導・支援

- ・高校における発達障がい支援に係るハンドブックの作成
- ・発達障がい支援員(5名)による高校への相談支援
- ・障がい特性に応じた効果的な指導・支援方法のあり方に関する研究  
(モデル指定校: 県立高校1校)



## 《就労の実現》

### 特別支援学校就労推進事業

【予算額 18,169千円】

#### ○特別支援学校における就労推進

- ・外部人材の活用による職場実習先及び就労先の開拓  
キャリア教育マネージャー(1名)  
キャリア教育サポーター(4名)

#### ○特別支援学校版キャリア教育プログラムの構築

- ・職業アセスメントの活用
- ・技能検定制度の活用、コース制拡大

### 特別支援学校企業就労実現支援緊急雇用創出事業

【予算額 29,498千円】

#### ○新たな職場実習先及び職域の開発

- ・企業への雇用促進要請や理解啓発の促進  
職域開発支援員(13名)

### 障がい者チャレンジワーク推進事業

【予算額 27,885千円】

#### ○障がいの程度に応じて働くことのできる環境の整備

- ・県立学校及び事務局で障がいのある人を任用(非常勤)
- ・障がいの程度に応じて働くことのできる業務の構築と任用者への系統的なサポートを推進

## 《学習環境の整備》

### 特別支援学校の整備事業

【予算額 581,090千円】

#### ○児童生徒数の増加に対応した整備

- ・くわな特別支援学校
- ・杉の子特別支援学校石薬師分校

#### ○地域の課題に対応した特別支援学校の整備

- ・特別支援学校東紀州くろしお学園
- ・松阪地域特別支援学校(仮称)

#### ○病院の一体整備に係る新たな特別支援学校の整備

- ・こども心身発達医療センター(仮称)に併設する特別支援学校





# 子どもの体力向上

当初予算主要事業 教育委員会 12、13頁【予算額 合計 46,805千円】  
保健体育課(224-2973)

子どもたちの運動習慣、食習慣、生活習慣の改善を総合的に推進するとともに、全国中学校体育大会等を開催することで、学校における体育・スポーツ活動を普及・振興し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てます。

## (新)子どもの体力向上総合推進事業

【予算額：14,483千円】

健やかな体を育むための学校・家庭・地域で取り組む体力向上推進運動

### 子どもの体力向上推進会議(仮称)

- 子どもの体力向上・生活習慣改善の取組検討
- 啓発ポスター、指導資料集、生活習慣日誌等の作成

体力向上推進アドバイザー 3名(事務局に配置)

- 新体力テスト・生活習慣アンケートの実施及び結果の有効活用
- 体力向上サポーター活用の調整 ●各種研修会企画立案
- 運動習慣・生活習慣・食習慣に関する指導助言

体力向上サポーター

高校生、大学生、地域のスポーツボランティア

- 小学校の体力向上活動の支援

学校

- ・体育授業の工夫と改善
- ・子どもたちが運動する機会の確保
- ・食育の推進
- ・生活習慣の改善に向けた取組

### 規則正しい生活

- 健康教育の意識向上
- 生活習慣アンケートの活用
- 生活習慣に関する研修会



### 楽しく運動

- 「体力の成長記録」の活用
- 運動カードを活用した体育授業
- 運動機会の確保



### しっかり食事

- 朝食メニューコンクール
- 生活習慣アンケートの活用
- 食習慣に関する研修会



家庭啓発

地域啓発

## みえ子どもの元気アップフェスティバル

日頃の学校における体力向上の取組成果を発表する大会

- 長縄跳び
- 一輪車
- 鬼遊び



### 運動体験ブース

各種スポーツ体験  
苦手運動解消体験等



### 食育・健康習慣ブース

試食、パネル展示  
体力測定等



### 親子元気アップ教室

親子で元気アッププログラム参加



### 優良校等表彰

体力向上、食育等に関する表彰



## (新)平成25年度全国中学校体育大会開催事業

【予算額：32,322千円】

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる

明るく豊かな生活を営む態度を育てる

三重県教育委員会

開催市教育委員会

(公財)日本中学校体育連盟、各競技団体

三重県中学校体育連盟

平成25年度全国中学校体育大会  
三重県実行委員会

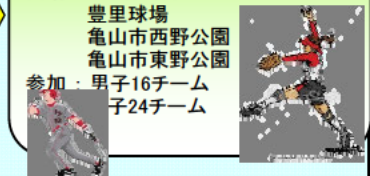
### 新体操

期日：8月22日(木)～24日(土)  
会場：県立ゆめドームうえの  
参加：団体28チーム  
個人47名



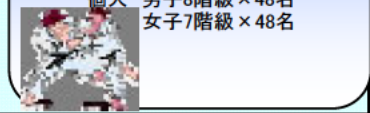
### ソフトボール

期日：8月17日(土)～20日(火)  
会場：河芸グラウンド  
豊里球場  
亀山市西野公園  
亀山市東野公園  
参加：男子16チーム  
女子24チーム



### 柔道

期日：8月18日(日)～21日(水)  
会場：県営サンアリーナ  
参加：団体 48チーム  
個人 男子8階級×48名  
女子7階級×48名



# 学校における防災教育・防災対策の推進

当初予算主要事業 教育委員会 11、12頁 【予算額 合計 949,515千円】  
教育総務課(224-3301) 学校施設課(224-2955)

東日本大震災では、多くの児童生徒が被害を受けたことから、児童生徒の命を守るため一層の取組が必要  
「三重県の学校における今後の防災対策・防災教育の在り方について<指針>」(H23年12月)に基づき、  
「課題解決のための方策」への取組を引き続き進めます。

○学校防災に資する教職員の養成 ○防災教育・防災対策の強化 ○学校の防災機能の強化 ○学校施設・非構造部材の耐震化

## (一部新)学校防災推進事業

【予算額 22,402千円】

- ◆**学校防災リーダー養成事業**
  - ・防災に関する専門的な知識、スキルを持つ学校防災のリーダーとなる教職員の養成
- ◆**(新)学校防災交流事業**
  - ・宮城県の中학생との交流、現地学習
- ◆**学校防災支援事業**
  - ・体験型防災学習支援  
防災タウンウォッチング、  
防災マップづくり等学校の  
防災教育の支援
  - ・防災ノート等を活用した学習
  - ・学校・家庭・地域の連携促進  
保護者、地域住民等との合同  
の避難訓練、防災学習の支援
- ◆**(新)実践的防災教育総合支援事業**
  - ・防災アドバイザーの派遣
  - ・防災に関する指導方法の開発
  - ・災害ボランティア活動

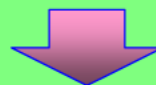


学校における防災教育・防災対策を強化し、  
児童生徒が自ら命を守るための力を養成します

## 学校防災機能強化事業

【予算額 197,881千円】

- ◆**県立学校の防災機能強化**
    - ・県立学校(5校)にライフジャケットを整備
  - ◆**小中学校の防災機能強化**  
《H24~25年度の2カ年で実施》
    - ・市町の取組を支援  
(補助率:1/2)
- 【補助内容】
- ・非常用発電機、投光器、簡易トイレ
  - ※ライフジャケットを対象に追加
  - ・備品等の転倒落下防止対策
  - ・ガラス飛散防止対策



災害時の児童生徒の安全・  
安心を確保します

## 学校施設の耐震化推進事業

※「校舎その他建築事業」及び  
「特別支援学校施設建築事業」  
の一部

【予算額 729,232千円】

- ◆**県立学校施設の耐震化**
  - ・校舎等の耐震化の完了
  - ・非構造部材の耐震対策  
外壁、吊り天井改修をは  
じめとする非構造部材の  
耐震対策



学校施設の安全性を  
確保します